

広報

KANADA Town Monthly Magazine

# カナダ

12.1 NO.316



## CONTENTS

- 2~5ページ まちのわだい  
ふるさとカナダふれあいフェスタほか
- 6~7ページ 公民館だより
- 8~9ページ こんにちは保健婦です  
成人病予防の食生活
- 10~11ページ みんなのひろば  
はっぴーバースディ ほか
- 12~15ページ 暮らしのインフォメーション
- 16ページ まちの伝説&むかしばなしほか  
福丸の伝わるむかしばなし

### 春まで、滞在しています。

今年もカモがやってきた。

10月の終わりから、カモが越冬のためにやってきました。マガモ、カルガモ、オナガガモ、ハジロ……。水面で捕食する種類が多く見られます。水鳥には、マガモなどのように水面または首を水の中に入れて餌を探しているものと、カイツブリ(別名ケツゴロウ)など、水中を潜って魚などを餌にしている二種類の鳥がいます。

さて、この見分け方はあるのでしょうか。泳いでいるときに、おしりが水面より浮いているものが、マガモタイプ。沈んでいるのが水中を潜るタイプに分けられます。また、飛び出し方もちがうのです。マガモなどは水面から一気に飛び上がりますが、潜るものは水面をバタバタと助走をつけないと飛び上がりません。

ちょっと雑学になりましたが、双眼鏡片手に河川敷に降りてみませんか。そお〜とです。写真は、彦山川で撮影しました。

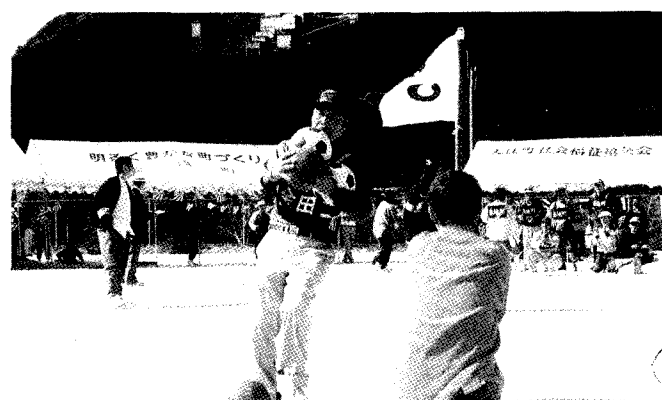
あなたの身近な出来事・話題などお寄せください。  
お待ちしております。  
詳しくは広報担当まで。☎22-0556

## 校舎中庭に花を咲かせよう

写真は10月30日、中学校美化委員30人(各クラス代表)と青葉会の会員5人が、校舎中庭にパンジーなど花の苗約1千本を定植作業している模様です。

これは、子どもとお年寄りの交流を目的に行われている「子どもにやさしいまちづくり事業」の一環として行われているものです。

一時間足らずの作業中、生徒と青葉会会員との会話は、ずみ楽しいひとときでした。



## ヤッパ、からだ動がすと気持ちいいネ。 田川郡身体障害者体育大会

田川郡内の身体障害者とその家族、約450人が参加して「第32回田川郡身体障害者体育大会」が10月20日、勾金小学校グラウンドを会場に行われました。

郡内の身体障害者相互の交流と親睦を目的に、身体障害者とその家族が楽しめるレクリエーションとして毎年行われているものです。

金田町からは50人が参加。玉入などの14種目の競技を秋晴れの下、楽しみました。

## まだまだバイ。年々ようなつとると。

春永さん、神崎三公民館に菊を展示

「菊づくりを始めて4年になったなあ。もともと花づくりは好きだったんだよ。」と語る、春永勲さん(七十石)、80歳。10月下旬から、神崎三公民館に菊(三本立、懸崖)30鉢を展示していました。



「あんまり上手にできんじやったけど、花を好いとる人が見てくればいいと思おて飾ったんじやよ。」

菊づくりは、友人から差し芽を分けてもらったのが、始めたきっかけだと言っていました。今年は60鉢ほどを育成。ご近所にも配ったそうです。

「5月ごろから差し芽をして、作るのは苦労はするが、思い通りに枝が回ってくればうれしいバイ。まだまだ、納得のいくものは少ないれどな。」と、少々照れ笑い。来年に向けての構想もあれこれ語ってもらいました。



取材したこの日は、自然薯づくりを準備していました。

この春永さん、町制80周年記念イベントの聖火台へ点火された方です。家には、広報カナダの7月1日号の表紙が飾られていました。



## ふるさとカナダふれあいフェスタ

11月2日、3日、金田町民会館周辺を会場に「第6回ふるさとカナダふれあいフェスタ」が行われました。

今年は、神崎遺跡から発掘された弥生式土器などが展示され、両日多くの見学者が訪れていました。

初日には、田川地区消防本部金田分署の協力(金田町消防団の企画)により救命講習



や、天ぷら油火災の消火を上演。天ぷら油の消火実演では、油の温度が約380度になるとなべに火が着き、それに水をかけると大きく炎が上がりました。

## 秋の火災予防運動

11月10日午前8時、役場のサイレンとともに金田町消防団員の演習が行われました。

この演習は、秋の火災予防運動パレードに参加する第2分団と本部の消防車を見送るために召集されたものです。また、見送り後には、年明け12日に行われる出初め式に向けての、分列行進の訓練も行われました。



濡れたふきんなどを被せて消火する方法に、集まった人たちは「なるほど!」「油火災はこわいね」など、感想はさまざまでした。

また、米の消費拡大の一環として、2日目には金田産米のヒノヒカリ3合が無料配布されました。

## 商工会青年部、北と南の交流

日本一寒い町からやってきた、北海道陸別町商工会青年部(加藤雅英さんほか5人)と、金田町商工会青年部との交流会が11月8日に行われました。

陸別町商工会青年部は道外視察研修の地に、金田町を選択。町の施設や商工会活動、イベント事業などの概要説明を受けるなどの研修内容でした。

交流会では、ふれあい塾に場を移して行われました。盛り上がりを見せた交流会では、お互いの商工会活動の悩みがポンポンと飛び出し、両商工会青年部のネットワークがまた広がったようです。



↑氷点下の奇祭「しばれフェスティバル」

北海道足寄郡陸別町は、人口約3,400人。基幹産業は、町の84パーセントを占める森林により、林業と酪農が主なものです。

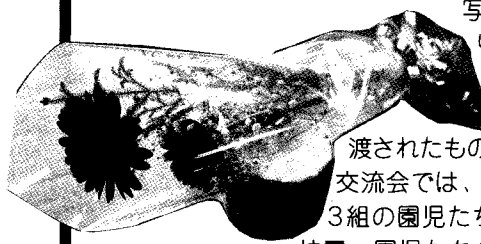
「寒さは財産」「寒さこそ楽しい」をモットーに行われている「しばれフェスティバル(毎年2月第1土、日曜日)」には、全国からたくさんの方が訪れにぎわいをみせるそうです。なかでも氷でできたかまくらで、寝袋一つで一晩を過ごす人間耐寒テストは有名です。

## おじいちゃん、おばあちゃん、大感激!!

金田保育園で、園児らの祖父母や三区老人クラブの会員のおじいちゃん、おばあちゃん38人を招待してふれあい交流会が11月12日に行われました。

写真は、園児たちの手作りのボックスと花束。園児たちがペアになって、一人ひとりに手渡されたものです。

交流会では、3歳児から年長までの3組の園児たちがお遊戯や組体操を披露。園児たちのいっしょうけんめいなおもてなしに、招待されたおばあちゃんたちは、目頭を押さえる場面も見られました。



## 田川産のものはうまいバイ!

### 田川地区産業まつり

11月9日、10日、田川地区の地場産業など約80社の農産物や特産品などが勢揃い。田川市総合体育館を会場に「第11回田川地区産業まつり」が行われました。アトラクションとしてザ・フライングエレファントメンバーの木村康治ソロコンサートや郷土芸能祭などが催され、会場は人、人、人でした。

金田町からは、(株)カナダアパレル、豊前日王焼、金田ハム工房が出展即売され、大変好評でした。



青葉会も今年から、出展販売しました。

## MYTown まちのわだい TOPICS

### 日王中学校創立50周年



### 中学校創立50周年記念行事

昭和22年(1947)4月、金田中学校が創立されて今年で50年を迎えました。

これを記念して11月10日、文化祭にあわせて中学校体育館で記念式典が行われました。

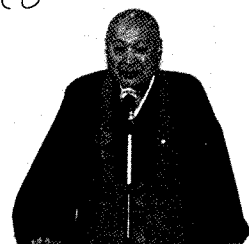
式典で、327人の生徒を代表として大井生徒会長は、「私たちは来春、記念すべき50回の卒業生となり、私たちが金田中学校の歴史に加わることになるのです。これまで卒業された約8千人の卒業生に負けないよう、素晴らしい文化と伝統を受け継いでいきたい。」と抱負を語りました。

式典終了後、「人、それぞれに花あり」と題した無着成恭さんの記念講演が行われました。

講演では、無着さんがいまの教育制度のあり方を、独特の語り口で警告。教師や保護者にとって、いまこそ教育制度を見直そうと課題の出された講演内容でした。

また、実行委員会(吉田光蔵委員長ほか7人)では、50周年を記念して、寄せられた募金により記念碑が建立されるそうです。

この日参加された人には、記念誌「日王陵」が配布されました。ご希望の方は、無料でお配りしますので、12月26日までに中学校(☎22-0136)橋さんまでご連絡ください。



## 「日王山初日の出ハイキング」 参加者募集

1月1日午前5時、ふれあい塾に集合!!

ふれあい塾を支える会では、年初めスペシャル講座として「日王山初日の出ハイキング」の参加者を募集します。

下山後、お茶やぜんざいを準備しています。ぜひ、ご参加ください。

■コース/ふれあい塾(5時30分出発)→ワクワクゆらゆ〜ら橋→日王山山頂(7時ころ)

▶ふれあい塾(8時30分着)■持っていくもの/懐中電灯、水筒など

■申込み方法/12月24日まで電話でお申し込みください。

詳しいお問い合わせ、申込先は  
ふれあい塾 ☎22-5400

### 陶芸教室も参加「まなびピア福岡'96」

#### 全国生涯学習フェスティバル

福岡県内7市を会場に、11月6日から10日まで「第8回全国生涯学習フェスティバル」が行われました。

この催しは、平成元年、千葉市を皮切りに、国民一人ひとりの生涯学習への意欲を高め、活動の場を全国的な規模で提供しようとする目的で行われているものです。

金田町からは、陶芸教室が北九州会場に参加しました。町のブースでは、金田町の紹介写真と陶芸教室での作品を展示。来年の干支の焼き物即売のほか、ろくろを体験してもらおうと訪れた人に、教室受講者が指導。出来上がった作品は、後ほど窯で焼かれ体験者に提供されるそうです。



あなたのアルバム  
見せていただけますか?

広報では、古い町の写真を探し求めています。写真の中に町の風景が写っているものなら、何でもけっこうです。

撮影当時のお話や、エピソードなどを交えて紹介したいと思います。写真は、必ずお返しいたしますので、ご連絡ください。

企画開発課内広報担当まで ☎22-0556



←「香春岳がまだ高い」  
……と、いうものでもOKです。

# 公民館だより

## 「学びたい」のニーズにこたえられる社会を いつでもだれでもどこでも



モノの豊かさから心の豊かさへ。いま、「何かを学びたい」という人々が増えています。新しい知識や技術を学びたい、充実した人生を送るために何かをしたいという欲求は、年齢に関係ありません。自分を高めるために、生涯にわたって自ら学ぶこと、それが生涯教育です。今月号では、「生涯学習住民意識アンケート調査」の主な結果をみながら、「学びたい」というニーズにどうこたえていくのかを考えてみました。

### 地域のなかの学習の場はさまざま

生涯学習は、スポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動など、さまざまな活動が行われています。また、その活動の場も小・中・高等学校、大学などの高等教育機関、公民館、図書館、博物館、文化施設、スポーツ施設、カルチャーセンター、企業・事務所など多岐にわたっています。

アンケート調査では、「過去なんらかの形で参加、学習したことがあるか」の問いに対して、回答者全員が何かに参加、学習したことがあるという結果がでました。「あなたや家族の方が、いま何かを学習しているものはあるか」の問いには、62の講座やスポーツ活動の回答がありました。そして「そのために利用している施設はどこか」ということをお聞きしたところ、総合会館や地区公民館などの町の施設を利用している人は、全体の69.1パーセント。民間施設や個人宅を利用している人は、17.4パーセントの回答がありました。

生涯学習を続けるには、施設面のほかに学ぶための環境が必要です。文部省の生涯教育審議会では、そのための具体的な提言を、答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」として、今年4月に提出しました。わたしたちの「学びたい」というニーズにどうこたえてくれるのか、提言された多くの具体的事例のなかから、そのいくつかみてみましょう。

### 働きながら大学や大学院で学びたい

大学や大学院などは、高度で体系的な学問が学べる場。このような高等教育機関での学習を望む社会人も増えています。現在、大学をはじめとする高等教育機関では、



社会人を受け入れるために、社会人の学習にふさわしい新たな教育課程の編成や履修形態の工夫を行っています。たとえば、夜間大学院の拡充、社会人特別選抜の導入、正規の学生以外の人も単位が修得できる科目等履修生制度の活用、放送大学の全国化……。

こうしたシステムがさらに進めば、いつでもだれでも高等教育が受けられるようになります。

アンケート調査での自由意見として、社会人のための夜間の講座開設の要望もありました。

### 地域で学びたい そんなときの情報は?

さて、地域で学ぼうと思っても、どこでどんな学習ができるのか、まずその情報が必要です。生涯学習の情報はどこで手に入れることができるのでしょうか。

そんなときは、教育委員会社会教育課を訪ねてみましょう。生涯学習関連施設や機関、ボランティアの活動状況など、詳しい内容などお問い合わせください。

アンケートでは、「中央公民館に図書室があるのは知っているか」と質問しています。回答いただいた68パーセントの人はご存じですが、3割の人が図書室があることを知らないと回答しました。これには、独立した図書館でないのと、情報発信不足が考えられます。また、自由意見のなかにも図書館や冊数の増を望む声も上がっていました。



### ボランティアに参加したい

ボランティアには、いろいろな分野の活動があります。たとえば、地域の施設の運営にかかわる

ボランティア活動はいかがでしょう。公民館、図書館、博物館、青少年教育施設や大学の付属病院などでは、ボランティアによる運営への協力や支援を受け入れているところがあります。

施設運営への協力は、施設のサービスや機能の向上につながり、参加する人にとっては、地域に貢献しているという充実感が得られる活動です。施設では、ボランティアの受け入れを通して地域の人たちの意見や希望を反映し



た運営ができるようになるというメリットがあります。

アンケートの自由意見のなかには、「ボランティア活動を推進してほしい」「イベントに対するボランティアには一部の人が重複してあっている」や、「地区公民館活動を充実したいが、行政の行事が多すぎる」「各地区の婦人層の活動の充実」など、地区のボランティア活動の充実を要望する意見が寄せられました。

## 生涯教育 町民意識 アンケート結果

この調査は、5月に町の全世帯を対象に行ったものです。調査総数は2,730世帯。回答数602世帯(回答率は22%)でした。

**Q1** あなたや家族の方が、過去なんらかの形で、次の項目に参加したことや学習したことがありますか。(複数回答)  
①講座・講習会 122 ②スポーツ 199 ③趣味・おけいごと(各教室) 197 ④研修会・講演会 166 ⑤その他 24

**Q3** あなたや家族の方が、いま学習されているもので、そのために利用している施設はどこですか。  
①中央公民館(総合会館) 101 ②地区公民館 74 ③個人宅 40 ④体育館・運動場 87 ⑤民間施設(カルチャーセンターなど) 26 ⑥その他 51

**Q5** 今後学習したいものや、参加したい講座・教室などがあればお書きください。(上位5位まで掲載)  
1 パソコン 2 料理 3 書道 4 華道 5 ワーク

**Q6** あなたや家族の方が、いま、ほしいと思う施設や、充実してほしいと考えていることがあれば記入してください。(回答は、上位5位まで掲載)  
施設

1 図書館 2 スポーツ・アスレチックジム 3 公園(金田側) 4 児童館 5 美術館(資料館)  
充実してほしいこと  
・障害者と老人に対する福祉施設など ・図書の冊数の増加 ・公園にアスレチック(遊具)の増加  
・図書室の土、日曜日の開放(時間の延長) ・河川敷の歩道やサイクリングロードの充実と

**Q7** あなたや家族の方は、中央公民館に図書室があることを知っていますか。  
①知っている 402 ②知らなかった 191

**Q8** あなたや家族の方が、今後公立図書館を利用したいと思いますか。  
①思う 286 ②あまり思わない 223 ③思わない 67

**Q10** 公民館・社会教育活動について、あなたの意見や要望をお書きください。(主なものを掲載)

- ・親子でふれあいながら参加できるものと考えてほしい
- ・行事(イベント)が多すぎるし、内容が理解しにくい。また参加しにくい。
- ・いろいろな講演会をしてほしい。 ・ボランティア活動の充実を。
- ・勤労者のための夜間講座を開設してほしい。 ・図書館、郷土資料館、児童館を設置してほしい。
- ・地区公民館の活動充実を。 ・子育てに関する講義や交流の場を設けてほしい。
- ・行政よりの情報提供をもっとほしい。 ・現施設の管理や改善をお願いしたい。

か しな  
『増やそうCa減ら脂Naさい』ってどういう意味?

厚生省が毎年行っている調査のひとつに、「国民栄養調査」というものがあります。これは、全国で無作為に選んだ6千世帯、約2万人が連続して3日間に食べた食品を分析することによって、日本人がどの栄養素をどの程度摂取できているかなど、その実態を知るために行われているものです。

唯一不足の栄養素

もっとカルシウムをとりましょう。

そのなかで、ただひとつ不足しているのがカルシウム(Ca)。昭和28年に栄養調査が始まって以来、所要量が満たされたことがなく、日本人に慢性的に不足しているといわれています。骨や歯を作り、精神のイライラをおさえたりというカルシウムの役割を考えると、もっと大事に摂取していきたいものです。

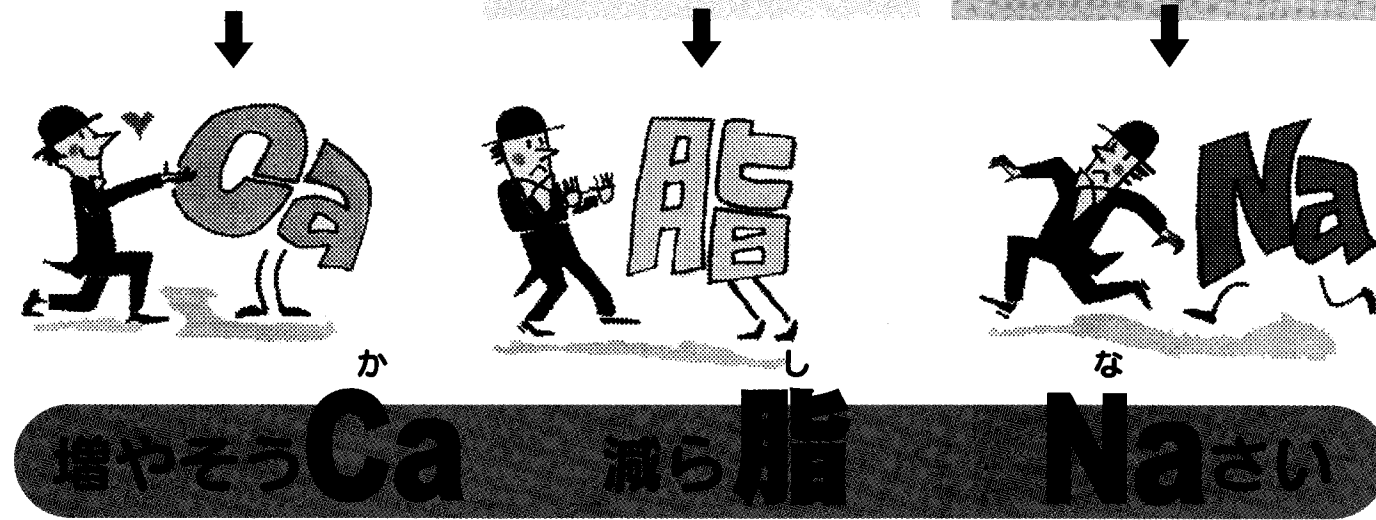
過剰摂取の栄養素もある

脂肪のとりすぎに注意しましょう。

反面、脂肪のとり方は急激な増加傾向。摂取エネルギーのうち、脂肪エネルギーが占める割合が25.7パーセントと、適量とされている20~25パーセントをここ数年上回っています。それにもなって肥満、高脂血症、動脈硬化、さらに心臓病も増えてきているのです。

まだまだ減塩。

また、成人病との関係が比較的早くから指摘されていた食塩(Na)の摂取量も減少傾向にあったのが再び上昇気味。日本人の食習慣と密接に関わっていることもあって、減塩作戦も足踏み状態になっています。



以上のように、国民栄養調査からカルシウム(Ca)をもっととる、脂肪はとりすぎない、しっかり減塩するという3つの課題が浮かびました。この課題を解決していくときの標語として生まれたのが、『増やそうCa、減ら脂Naさい』というわけです。

10月号でカルシウムのお話をしましたので、今月号では脂肪のお話をします。

■脂肪は量と質を考えて

ついこの間まで、日本人の食卓にはほとんど「あぶら料理」がありませんでした。焼魚や煮付け、酢の物、漬物、みそ汁、ごはんなどといったパターンが主だったのです。でも、現代の食卓は、「あぶら料理」が欠けることはないといえるほど、豊かになっています。

動物性脂肪をとりすぎると、肥満とともに狭心症や心筋梗塞、脳梗塞等の病気をまねきます。とはいえ、脂肪は健康な体を維持していくうえで必要なエネルギー源でもあります。脂肪を食べることはからだにとって重要なことです。要は、食べ過ぎに注意し、動物性脂肪と植物性脂肪をバランスよくとる、ということです。

■「肉」ってこんな食べ物

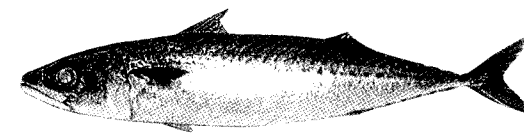
- ・各種ビタミン、ミネラルをバランスよく含み、疲労回復・皮膚や粘膜の強化に役立つ
- ・レバーが貧血を予防する
- ・細かい骨がないので、調理しやすく子どもやお年寄りでも食べやすい

肉類100g中の脂肪量



■「魚」ってこんな食べ物

- ・カルシウムがたっぷり。小魚は丸ごと食べられる
- ・コレステロール値を正常にするEPA(エイコサペンタエン酸)を含み(サバ、サンマなどに多い)、血液をさらさらにする



・コレステロール値を正常にするほか頭の回転をよくするDHA(ドコサヘキサ酸)を含んでいる(マグロのトロ、イワシ、ブリなどに多い)

■「肉」・「魚」と健康的につくあうために

- ・新鮮なものを選ぶ
- ・どちらも必ず野菜といっしょに食べ、どちらか一方に偏らないように気をつける。
- ・余分な油は調理法で減らす工夫を(あらかじめ脂身を取り除く)
- ・網焼きにして油を落とす
- ・電子レンジやこげつかないフライパンなど上手に利用するなど)

■動物性脂肪と植物油をバランスよく

動物性脂肪(魚油は除く)のとりすぎは血液中のコレステロール値を高め、一方、植物油にはコレステロールを減らす働きがあります。

■植物油が”悪玉コレステロール”を運びさる

コレステロールは成人病の元凶として敵のように見られがちですが、生体膜を構成する脂肪のひとつで体内に欠かせない物質です。

このコレステロールには”善玉””悪玉”とがあります。

悪玉は、血管壁にコレステロールを沈着させ、血管の内側をせばめて血液の流れを悪くしたり、血管をもろくします。一方、善玉は、血管に沈着したコレステロールを掃除して、肝臓に運び去ってしまう働きをします。植物油に含まれる不飽和脂肪酸は、この善玉を活性化させ、余分なコレステロールを血管内から掃除してくれます。

先日行われました「ふるさとカナダふれあいフェスタ」にて、約200人の方が「骨強度測定」を受診されました。ありがとうございました。

今回、当日試食コーナーに出しましたメニューをご紹介します。

レーズンポテト(4人分)

- <材料>  
さつまいも240g 砂糖 24g  
レーズン20g スキムミルク20g  
バター12g きな粉12g 砂糖4g  
シナモン 少々

- <作り方>  
①さつまいもは皮をむいて乱切りし、ひたひたの水で軟らかく煮てから、丁寧につぶしながら、砂糖とスキムミルク、バターを混ぜておく。  
②レーズンはサッと湯通しして、あらかじめざんでおく。  
③①と②を混ぜてラップで茶巾絞りに作り、器にもる。  
④きな粉と砂糖、シナモンを混ぜ③にふりかける。

レーズン入りヨーグルトかん(6人分)

- <材料>  
プレーンヨーグルト300g  
粉寒天 4g 水130cc 牛乳100cc  
レーズン30g 砂糖30g

- <作り方>  
レーズンは、お湯でふやかしておく。寒天を水に振り入れ、火にかけて煮立たせ砂糖、牛乳を加える。ボールにヨーグルトを入れ、を少しずつ加えながら混ぜ、流し缶に流しレーズンを散らして冷し固める。

フライド小魚

- <材料>  
煮干し(小さいもの) 60g  
衣 削りカツオ 3g  
青のり粉 大さじ1杯 卵 1個  
牛乳 150cc 小麦粉 50g  
揚げ油 適量

- <作り方>  
ボールに衣の材料を入れ、はして混ぜて衣を作る。  
煮干し4~5尾をまとめて衣をつけ、170℃に熱した揚げ油でカリッと揚げる。

# みんなのひろば

「みんなのひろば」は、みなさんで作るページです。投稿・作品を募集しています。写真、絵、イラストなどあなたの自慢の作品を広報で紹介しませんか。そのほか会員募集、サークル活動のレポートなど大募集しています。応募先：連絡先/金田町役場企画開発課広報担当まで。22-0556(直通)



のきたともみ  
**野北 朋美さん**  
田川信用金庫金田支店勤務

今日は、田川信用金庫金田支店にお勤めの野北朋美さんに登場していただきます。

まず、自己紹介をどうぞ。

伊田から通勤している野北朋美です。今年入社した19歳です。今日は、支店長代理から「がんばってこいヨ」といわれてきました。窓口では、定期預金の担当です。よろしくお願ひします。

入社1年目ということですが、もうお仕事なれましたか。

最初のうちは戸惑いもありました。まだまだ半人前ですが、ようやくなれたって感じですね。これからボーナス時期になりますので、忙しくなります。

卓球の試合があったとお聞きしたのですが……。

ぼろ負けでした。(笑) 県下の各信用金庫が集まったの大会だったんです。ほかにもバレーボールや野球の試合もあるんです。卓球の経験なんて、大会前の2週間練習しただけだったから、当たり前なことなんですけどね。

お休みのときはどう過ごされていますか。

音楽聞いたりとか、ドライブですね。免許がないので助手席専門ですけど。運転免許は取りに行きたいのですが、時間の調整ができなくて考えているところです。

…ということは、彼氏がいらっしゃる?

ええ、なんとか。

結婚については。

母親が晩婚だったせいか、わたしたちに「早く嫁に行ってくれ」なんて、追い出されるように言われています。ふたつ上の姉が2月に結婚しますから、残るのがわたし一人。嫁に行つて攻撃から、逃れるには24歳くらいまでかなあと思っています。

最後に町の印象は。

楽しい町ですね。夏のフェスタ楽しかったです。地元では、盆踊りくらいしかないんです。

お姉さんの影響で、簿記の勉強は中学生から始めていたという彼女。信金窓口ではお客さんから「おじょうちゃん」と呼ばれているということです。「広報に登場したらおぼえてもらえますね。」と言え、「窓口の一番奥にいるのがわたしです。ボーナスはしんきんへお願いします。」と、しっかりPRされてしまいました。

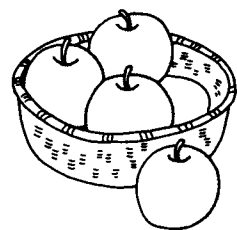
## やんごっト VOL.19

このコーナーは、金田町にお住まいかまたは、勤務されている人を紹介するコーナーです。町でがんばっている若者、自薦、他薦は問いません。詳しくは広報担当まで。

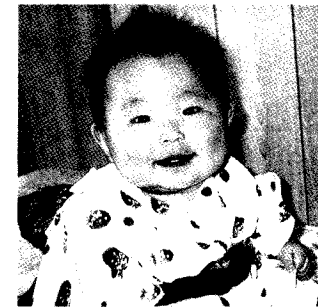


### 金田町公民館俳句教室

岩井鬼童 選



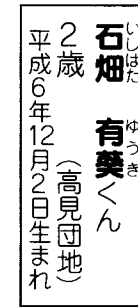
青空に口開けて擁ぐ林檎かな  
岩井鬼童  
柿熟れて台座下りたき茶師仏  
出水月舟  
秋灯煉瓦づくりの絵画館  
建部三由紀  
林檎もぐ手の届かぬを母が足し  
花石かほる  
此所よりはかささぎの国稲熟るる  
永尾喜美江  
園児らの声を黄色に林檎狩  
日比生利子  
朱の橋のむかふ菩薩の露の里  
沖田トミエ  
豊作の音色に響く祭り笛  
田村君子  
露草の青に佇むとききひとり  
大堀マサエ  
黄金の風吹きあげて柿熟るる  
香月富子  
秋ざくらひきつめ髪を女医若し  
末継久香  
秋茄子の紺のしづくを買ひにけり  
原 美恵子  
鐘響く知覧の里や赤とんぼ  
塚本美樹弥  
烏瓜真赤に藪を灯しけり  
岩崎あきえ  
林檎地にふれむばかりや空ま青  
許斐成子  
園児らの声のみ出す花野かな  
原田鈴江  
木犀の風を通して衣を解く  
坂田朝子  
よそ見する狗尾草をなだめ活く  
大久保和子  
垣根越し頬染め覗く石榴かな  
原田義夫  
澄む水のごとき晩年仏師の眼  
市川法子



よした  
**吉田 未風ちゃん**  
(玉見)  
1歳  
平成7年12月29日生まれ



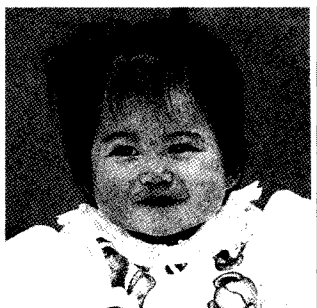
たまい  
**玉井 慎太郎くん**  
(本町)  
1歳  
平成7年12月10日生まれ



いしはた  
**石畑 有美くん**  
(高見団地)  
2歳  
平成6年12月2日生まれ

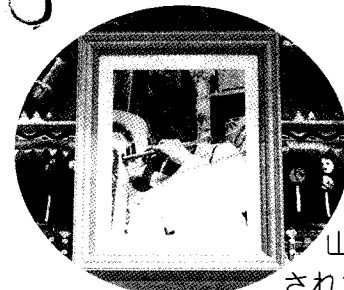


なかもら  
**中村 駿汰くん**  
(神崎一)  
2歳  
平成6年12月28日生まれ



はろ  
**原 美友ちゃん**  
(福吉)  
1歳  
平成7年12月30日生まれ

お誕生日の記念にかわいいお子さんを広報で紹介しませんか。発行月に誕生日を迎える満1歳から3歳までのちびっ子を募集しています。写真は、広報担当が撮影に伺います。(1月生まれのお子さんは12月6日まで、2月生まれのお子さんは1月10日まで)お早めに、企画開発課広報担当まで電話でお申し込みください。■22-0556



### 神崎三山笠は、追悼山笠でした。

10月12、13日に行われた飯土井神社神幸祭。

このとき奉納された神崎三山笠に、今年7月18日に急死された、春永高志さん(当時19歳)の遺影が飾られていました。

高志さんは、お祭り好きで笛が得意でした。「今年も神幸祭はがんばるぞ」と、本人は友人らと語っていたそうです。折しも専門学校の帰り道に、交通事故で他界。地区では、この若者を追悼しようではないかと自然に盛り上がり、高志さんの写真を飾り追悼山笠として奉納しました。

(春永武利特派員/七十石)

